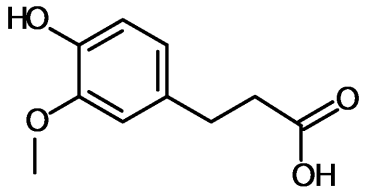
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和7年6月5日(2025.6.5)

【公開番号】特開2023-69459(P2023-69459A)
【公開日】令和5年5月18日(2023.5.18)
【年通号数】公開公報(特許)2023-091
【出願番号】特願2021-181330(P2021-181330)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ 36/9068(2006.01)
Ａ２３Ｌ 33/10(2016.01)
Ａ６１Ｐ 43/00(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/192(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/353(2006.01)
Ａ６１Ｐ 3/04(2006.01)
Ａ２３Ｌ 2/52(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ 36/9068
Ａ２３Ｌ 33/10
Ａ６１Ｐ 43/00 １１１
Ａ６１Ｋ 31/192
Ａ６１Ｐ 43/00 １２１
Ａ６１Ｋ 31/353
Ａ６１Ｐ 3/04
Ａ２３Ｌ 2/52
Ａ２３Ｌ 2/00 Ｆ

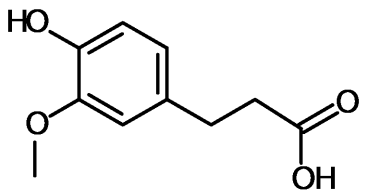
【手続補正書】
【提出日】令和7年5月27日(2025.5.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
下記式（Ｉ）で表される化合物と、ブラックジンジャー抽出物および／またはカテキン類と、を有効成分とすることを特徴とするサイクリックＡＭＰホスホジエステラーゼ活性阻害剤。
【化１】



・・・(I)

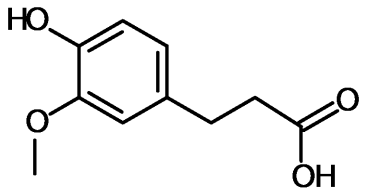
【請求項２】
下記式（Ｉ）で表される化合物と、ブラックジンジャー抽出物および／またはカテキン類

と、を有効成分とすることを特徴とする抗肥満剤。
【化１】



・・・(I)

【請求項３】
下記式（Ｉ）で表される化合物と、ブラックジンジャー抽出物および／またはカテキン類と、を有効成分とすることを特徴とする脂肪分解促進剤。
【化１】



・・・(I)

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４３】
本実施形態のｃＡＭＰホスホジエステラーゼ活性阻害剤は、有効成分である化合物（Ｉ）およびブラックジンジャー抽出物、ならびに化合物（Ｉ）およびカテキン類が有するｃＡＭＰホスホジエステラーゼ活性阻害作用を通じて、ｃＡＭＰの産生を促進するため、血小板の凝集を抑制することができ、これによりアレルギー疾患や各種炎症性疾患等を予防、治療又は改善することができる。また、本実施形態のｃＡＭＰホスホジエステラーゼ活性阻害剤は、化合物（Ｉ）およびブラックジンジャー抽出物、ならびに化合物（Ｉ）およびカテキン類が有するｃＡＭＰホスホジエステラーゼ活性阻害作用を通じて、脂肪の分解を促進することができ、この結果、肥満症、およびこれに伴う動脈硬化、糖尿病、メタボリック症候群等の様々な生活習慣病を予防・改善することができる。ただし、本実施形態のｃＡＭＰホスホジエステラーゼ活性阻害剤は、これらの用途以外にもｃＡＭＰホスホジエステラーゼ活性阻害作用を発揮することに意義のあるすべての用途に用いることができる。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４５】
〔ｃＡＭＰホスホジエステラーゼ活性阻害用経口組成物〕
化合物（Ｉ）およびブラックジンジャー抽出物は、ｃＡＭＰホスホジエステラーゼ活性

阻害作用において優れた作用を有しているため、経口組成物に配合するのに好適である。この場合、化合物（Ｉ）または化合物（Ｉ）を含有する組成物およびブラックジンジャー抽出物、をそのまま配合してもよいし、これらを製剤化したｃＡＭＰホスホジエステラーゼ活性阻害剤を配合してもよい。これにより、ｃＡＭＰホスホジエステラーゼ活性阻害用途に好適な経口組成物とすることができる。上記作用、特に脂肪の分解促進作用は、経口組成物に付与されることで作用効果が発揮されやすいため、好適である。

【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４６】
化合物（Ｉ）およびカテキン類は、ｃＡＭＰホスホジエステラーゼ活性阻害作用において優れた作用を有しているため、経口組成物に配合するのに好適である。この場合、化合物（Ｉ）または化合物（Ｉ）を含有する組成物、およびカテキン類またはカテキン類を含有する組成物をそのまま配合してもよいし、これらを製剤化したｃＡＭＰホスホジエステラーゼ活性阻害剤を配合してもよい。これにより、ｃＡＭＰホスホジエステラーゼ活性阻害用途に好適な経口組成物とすることができる。上記作用、特に脂肪の分解促進作用は、経口組成物に付与されることで作用効果が発揮されやすいため、好適である。